

生活産業情報

対象クラス	第1学年 生活デザイン科	単位数	2
使用教科書	生活産業情報(実教出版)		
使用副教材	全商ビジネス文書実務検定模擬問題集3級・2級(実教出版) 全商情報処理検定模擬問題集3級(実教出版)		

「生活産業情報」とはこんな科目です。
 家庭生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、必要な資質・能力・態度を身に付けることを目指した情報に関する基礎科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)
 ・情報の意義や役割、情報技術を活用するためにコンピュータのしくみについて学び、ソフトウェアの基本操作を身に付けます。また、情報モラルや情報通信ネットワークの役割、収集した情報の管理、セキュリティの重要性を理解します。
 ・学習した技術を家庭生活や生活産業分野に生かすことができる能力と態度を育てます。
 ・生活産業における情報及び情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的に取り組む態度を養います。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能 (技術)	4	<ul style="list-style-type: none"> 情報及び情報技術が果たす役割や及ぼす影響について具体的な事例を通して幅広く科学的に理解しているか。 情報モラルやセキュリティ管理に留意して、日本語ワードプロセッサソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作技術を習得しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ペーパーテスト 実技テスト 作品
思考・判断・表現	3	<ul style="list-style-type: none"> 生活産業に関わる情報を適切に収集、処理、分析して課題に取り組んでいるか。 世の中の様々な事象と情報を結び付けて考え、新しい発想で創り出そうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 実技テスト 作品
主体的に学習に取り組む態度	3	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会において情報機器や情報通信ネットワークを効率的に活用することの大切さを理解しているか。 生活の質の向上と社会の発展のために自ら考えたり、行動したりして周囲の人々と協働して取り組んでいるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ワークシート 作品

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前 期 中 間	1章 情報化の進展と生活産業	1節 情報化の進展と社会 2節 生活産業における情報化の進展	<ul style="list-style-type: none"> 生活産業における情報機器や情報通信ネットワークの役割と現状について理解する。 情報化の進展による生活面の影響や問題点について関連法規を理解し課題解決に向けて考える。 コンピュータの基本構造について理解する。 Webページ、SNSなどを取り上げ、消費者と企業がどのようにコミュニケーションを利用しているか理解する。 ローマ字入力で文書内へ正確に文字を入力する力を身に付ける。
	3章 コンピュータとプログラミング	1節 コンピュータの基本構造	
	4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン	1節 メディアの特性 2節 コミュニケーション 3節 情報デザインの課題	
	5章 各種アプリケーションの基本操作	1節 文書作成ソフトの利用 (前期中間考査)	
	2章 情報モラルとセキュリティ	1節 情報モラル 2節 情報通信ネットワークの仕組みとセキュリティ管理	
前 期 期 末	5章 各種アプリケーションの基本操作	5節 画像処理ソフトの利用 6節 動画に関連したアプリケーションの利用 1節 文書作成ソフトの利用 (前期末考査)	<ul style="list-style-type: none"> 情報に関する法規、情報通信ネットワークの仕組みを理解する。 情報社会における情報モラル、セキュリティ管理の具体的な問題の対処法について考える。 画像を綺麗に編集する力を身に付ける。 分かりやすい動画の作成方法を理解する。 画像の挿入や表の作成など文書作成・編集する力を身に付ける。

後 期 中 間	5章 各種アプリケーションの基本操作 3章 コンピュータとプログラミング 5章 各種アプリケーションの基本操作	2節 表計算ソフトの利用 2節 モデル化とシミュレーション 3節 アルゴリズムとフローチャート 3節 プログラミングソフトの利用 (後期中間考査)	・情報の収集、処理、分析する能力を身に付け、表計算、データの編集、グラフを作成する力を身に付ける。 ・コンピュータを用いたシミュレーションの例について理解する。 ・フローチャートを用いた表現方法について理解する。 ・表計算マクロ言語を用いてプログラミング技術を身に付ける。
学 年 末	5章 各種アプリケーションの基本操作 6章 生活産業に関連した情報デザイン	4節 プレゼンテーションソフトの利用 7節 Webページ作成ソフト利用 1節 食生活関連分野での利用 2節 衣生活関連分野での利用 3節 住生活関連分野での利用 4節 ヒューマンサービス関連分野での利用 5節 消費生活関連分野での利用 (学年末考査)	・プレゼンテーションソフトの活用技術を身に付ける。 ・Webページを作成する際の基本操作を理解する。 ・衣食住、ヒューマンサービス、消費生活においてどのように情報が活用されているか考えている。 ・各種アプリケーションソフトを適切に選択・活用する力を身に付ける。 ・生活の質の向上と社会の発展を視野に入れて取り組む。